

## 文化的・社会的貢献活動



移送サービス



KAKOGAWA踊こまつり



加古川ツデーマーチ



まっせまつり



インターンシップ実習

### 「住民の自主的なまちづくり」に向けた 取り組みへの支援

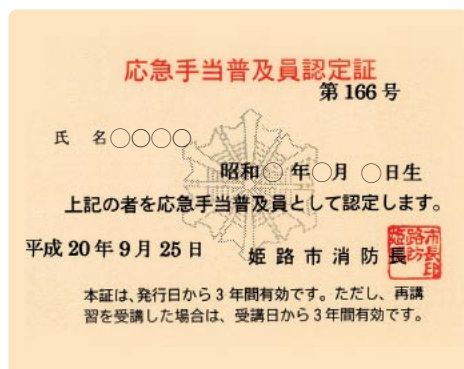
地域社会の活性化支援を目的に上げた地域サポーター制度「生野ひいきの会」の活動が、近畿財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム」において、近畿財務局長より顕彰されました。



### 「応急手当普及員」の認定

平成20年9月、姫路市消防局より「応急手当普及員」として、職員が認定されました。応急手当普及員は、地域の自治会、PTAならびに各種団体等の要請を受けて「市民応急手当講習」を実施し、受講者に「応急手当講習修了証」を発行することができます。これは、平成20年3月に全営業店に設置したAED(自動体外式除細動器)を使用し、救命処置を習得する「普通救命講習」を受講したことを機会に資格を取得したものです。

今後とも「地域の安全と安心」の町づくりのために、積極的に取り組みます。



設置表示ステッカー



導入機器「セコムAED CR Plus」

### NPO法人「但陽ボランティアセンター」の取り組み

阪神淡路大震災の直後に活動を開始して丸14年が経過し、その間、延べ1万4千人を超す役職員をNPO法人に派遣し、ボランティア活動に携わってきました。現在も毎日4名～6名の職員が、リフト付き車両で車椅子の方の移動を支援する「移送サービス」、電話回線を使用した緊急通報システム「ベルボックス」を中心に活動を行っています。

また、渉外担当職員が独居の高齢者のお宅を定期的に訪問する「ケア訪問」にも取り組み、毎月、2,200軒のお宅を訪問しています。今後も、より多くの皆様のお役に立てればと考えています。

### KAKOGAWA踊こまつり

〔KAKOGAWA踊こまつり〕は今年で11回を数え、毎回、市民の皆さんが主体的に企画、運営する市民発の祭です。毎年、5月のゴールデンウィークに開催され今年は147チームの参加があり、盛大に開催されました。当金庫もまちづくりの一環として第1回目から協賛しています。

### 加古川ツデーマーチ

全国有数規模のウォーキングイベントである「加古川ツデーマーチ」は昨秋で19回を数え、2日間で延べ8,254名のウォーカーが参加しました。毎回、多数の市民ボランティアが運営に協力しています。

当金庫も特別協賛するとともに毎回80名近い職員が受付・模擬店のボランティアとして参加しています。

### まっせまつり

神河町中村から粟賀町までの旧街道沿いの、空店舗・空地および民家の軒下を利用して「まるごとりまっせ」と住民・商工業者が特産品の販売およびバザーイベントを開催しています。

毎年、町内外から多数の人が参加されて大いに賑わっており、当金庫も毎年バザーに出品するなど、まつりに参加しています。

旧街道は、日本最初のハイウェイとして、姫路(飾磨港)から生野鉦山までの南北49kmを結んだ「銀の馬車道」であり、当金庫旧店舗の一部を活用した「銀の馬車道交流館」では往時の面影を偲ぶこともでき、地域交流の場となっています。

### インターンシップ実習

当金庫は毎年、関西圏の大学生をインターンシップ実習生として受け入れており、大学が参加学生を対象に行ったアンケート調査で好評を得ています。大学生の企業でのインターンシップは将来の就職活動を見据え、年を追うごとに希望者が増加しています。

学生は、こうした実習で金融機関について就職活動だけでは得られない情報や知識が収集できるため、実習への参加希望はますます多くなるとは思いますが、できる限り要望に応じていきたいと考えています。